

❑❑ ご使用にあたって ❑❑

この度は「サポートジャケット® Bb+PRO II」をお買い上げいただきありがとうございます。
本製品をご使用いただくに際には、この取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用ください。
取扱説明書は紛失しないように保管してください。

本製品の機能

日常作業で無意識に負担をかけている姿勢を理想的な姿勢に導きながら、腹筋と背筋を正常に機能させることで軽作業での荷物の上げ下ろし、移動などによる腰痛の原因を軽減させます。

本製品の用途と特徴

- ・本製品は、軽作業時の腰部ならびに上半身の負担を軽減するアシストスーツです。装着者が持っている以上の力を発揮出来る製品ではありません。
- ・本製品を装着して、過度に重たい荷物を持つことや、必要以上に腰に負担のかかる姿勢をとることはおやめ下さい。
- ・本製品は、医療用器具では無い為、腰痛や肩こりなどの身体的疾患を治療するものではありません。
- ・本製品が謳う3つの機能の効果には個人差があります。
- ・本製品は、前屈姿勢をとることでマッスルベルト等の弾性生地が伸び、アシスト効果を発揮します。
- ・本製品は、腰部、背骨の安定とサポートを目的にした商品であり腰部や背骨を完全に保護するものではありません。
- ・本製品には静電気帯電防止機能はありません。

安全上の注意事項 必ずお読みください！

⚠ 警告 誤った取扱いをした時に 死亡や重症に結びつく可能性があるもの

- ・本製品は、腰痛その他の疾患を治療する製品ではありません。
- ・本製品は加工、改造、修理を行わないでください。
- ・下記に該当する方は着用しないでください。
現在、肩、胸、膝など装着部位等に怪我や傷、腫れもの、湿疹、アレルギー、血行不良など異常がある方、その他疾患のある方、妊娠中または妊娠されている可能性のある方、飲酒後の方、低体力の方など
- ・使用中に痛みやしびれ、かゆみ、かぶれ、湿疹などの異常やつけ心地が悪いなど違和感を感じた場合は直ちに使用を中止し、医師に相談して下さい。
- ・締め付けすぎると血行障害を起こす可能性がありますのでご注意ください。
- ・長時間使用する場合は適度に着脱を行なってください。圧迫による皮膚障害や血行障害の恐れがあります。
- ・薬品等を使用する場所では使用しないでください。
- ・急激な温度変化が伴う場所、並びに過度に高温、低温になる場所での使用はしないでください。
- ・破損、摩耗、変形、面ファスナーの粘着力が悪くなったものは使用しないでください。
- ・本取扱説明書記載の「装着方法」に従って正しく装着した上でご使用ください。
- ・正しくご使用されない場合、充分な補助やアシストが得られないだけでなく、身体が過度に圧迫されたり怪我や破損の原因となります。
- ・製品が周囲に引っかかったり巻き込まれたりする危険がありますので着用時は周りの環境に充分注意してください。
- ・膝ベルトを外したまま、歩いたり階段等の昇降はしないでください。
- ・本取扱説明書記載の「サイズ表」を参照し、サイズが合わないものは使用しないでください。
- ・上下、裏表、前後を確認の上、正しく使用してください。
- ・使用中にズレやゆがみが生じた場合は、正しく装着し直してください。
- ・就寝時には使用しないでください。

⚠ 注意 誤った取扱いをした時に 傷害または他の財物への損害に結びつく可能性があるもの

- ・着座時など、本機能が不要な場合はご使用はおやめください。
- ・バックルに衣類や皮膚をはさまないようにご注意ください。
衣類の破損や、皮膚などを傷つける原因になります。
- ・本製品に破れ・亀裂・破損など不良が見られる場合は直ちに使用をおやめください。
- ・面ファスナーに衣類を挟んだり、貼り付けたりした場合衣類を破損することがあります。
- ・面ファスナーはホコリやごみ等が付着すると、テープ部分の粘着力が弱くなる場合がありますので、ホコリ等は取り除いてご使用ください。
- ・他の衣料に色移りする場合があります。
- ・弾性生地などに収縮性が無くなった場合はご使用をおやめください。
- ・本製品を他の方へ転用(再利用)された場合のトラブルや事故等につきましては責任を負いかねます。
- ・本製品は必ず肌着や衣類の上から装着し肌に直接当てないでください。
- ・面ファスナーやマッスル機能部のゴムの寿命は、使用状態などで短くなる場合があります。
- ・製品の仕様、外観などは改良のため予告なく変更することがあります。
- ・安全に使用するために、管理者は、使用前に必ず点検をしてください。

「サポートジャケット®」に関するお問い合わせは

UPR ユーピーアール株式会社

アシストスーツ事業部

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-3-2 内幸町東急ビル12F

http://www.upr-net.co.jp/

TEL 03-6852-8932

FAX 03-3593-3016

Email pas@upr-net.co.jp

【特許登録済】サポートジャケット®はユーピーアール株式会社の登録商標です。

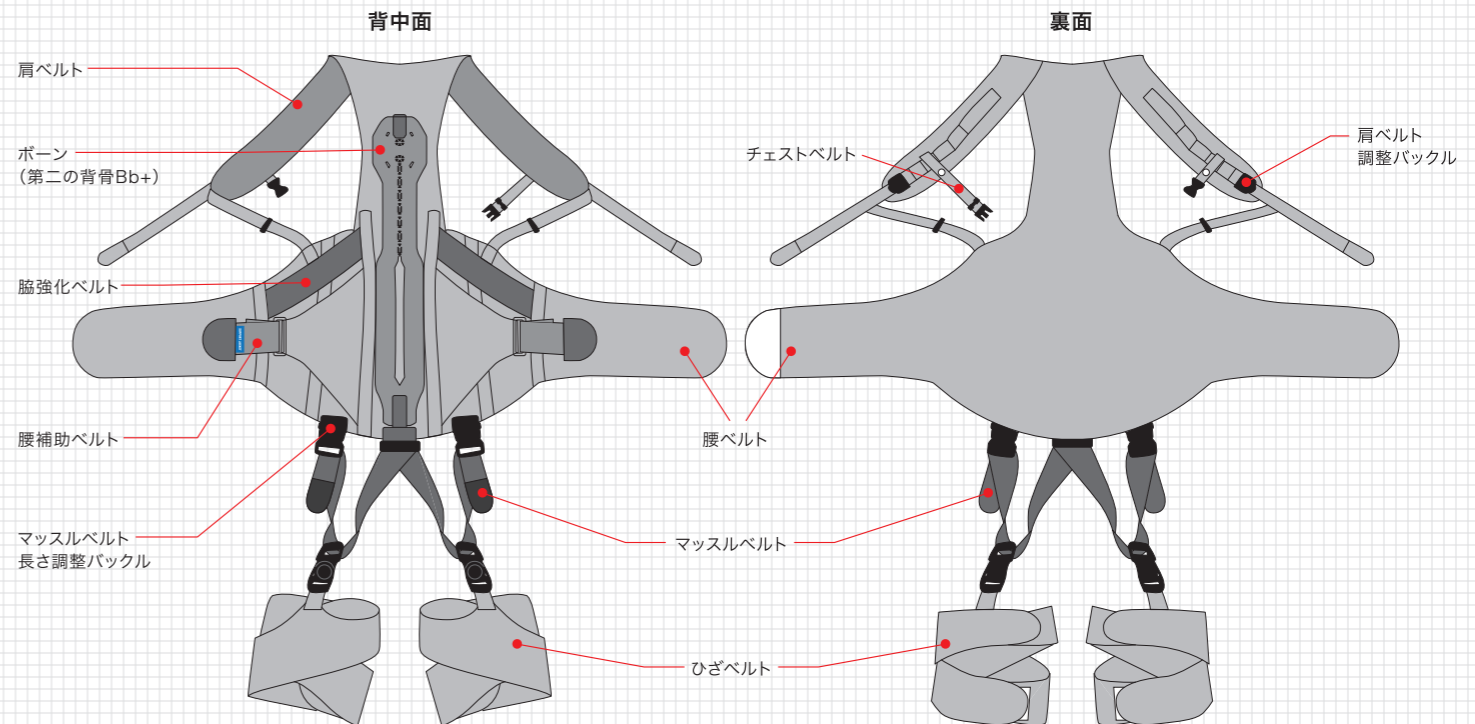
SUPPORT JACKET Bb+PRO II

サポートジャケット® Bb+PRO II

装着方法

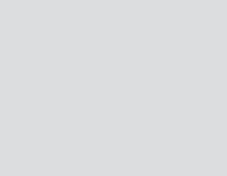
取扱説明書

各部位の名称



【各バックルにベルトを通す方法】
図のようにベルトをバックルの中心に通し、ベルト先端をバックル下にくぐらせて留めます。※バックルの通し方は、肩・チェストベルト・マッスルベルト共通です。

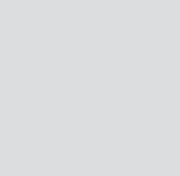
正しい装着のポイント ※詳しくは中面に記載しております。



肩ベルトは
多少余裕をもたせる



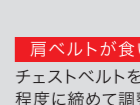
第二の背骨Bb+ (ボーン)
最下点を尾てい骨周辺に合わせ、
腰ベルトが腰骨を包み込むように巻く



マッスルベルトは
つっぱりがない



しゃがみにくい
マッスルベルトを締め過ぎていませんか？
マッスルベルトの強弱を調整してください



肩ベルトが食い込んで痛い
チェストベルトをきつくない
程度に締めて調整してください



ひざベルトが食い込んで痛い
ひざベルトを締め過ぎていませんか？
ずれない程度に調整してください

6 ステップで簡単装着

装着前の事前準備

- ・肩ベルト調整バックルに通してある肩ベルトを緩めます
- ・マッスルベルトバックルは片方外しておくと、ひざベルトが留めやすくなります

1 肩ベルトに腕を通す



①肩ベルトをゆるめます



②ねじれないように腕を通します

2 腰ベルトを正しく締める



①ボーン最下点を尾てい骨周辺に合わせる



②腰ベルトを両方に引っ張り、脇強化ベルト部が伸びた事を確認し腰骨を包み込むように巻いて面ファスナーで留めます



③腰補助ベルトを前に引っ張りながら留めます(骨盤をさらに安定)



装着感について

良姿を目的に「猫背が治るような感覚」「前屈姿勢の際に少し抵抗を受ける感覚」を得られるよう設計しています。調整しながら体感ください。

3 ひざベルトをとめる



①ひざベルトをお皿の上下に留めます
ひざベルトが留めにくい場合は、マッスルベルトを緩めるか、お尻側左右どちらかのバックルを外すと、装着がスムーズです

4 マッスルベルトを調整する



①マッスルベルトの強さを調整します

5 肩ベルトの緩みを調整する



①胸を張って肩ベルトを締めます 作業姿勢によって適宜調整し、締めすぎに注意してください



6 チェストベルトを留める



①チェストベルトを留める 以上で装着完了です

SUPPORT JACKET Bb+PROII

日常作業で無意識に負担をかけている身体の状態を理想的な姿勢に導きながら、腹筋と背筋を保護・安定させることで軽作業での立ち姿勢、荷物の上げ下ろし、移動などによる腰の負担を軽減させます。

サポートジャケットBb+独自機能

フォームナビ機能



独自開発のBb+が背骨と腰の理想的な姿勢へと誘導します。また、作業に伴う前かがみの姿勢を抑える事で背中や腰にかかる大きな負担を軽減します。

ランバーサポート機能



腰を安定、保護するための大きなベルトにより背骨と腹筋、背筋を包み込む事で腹圧が保たれ、装着する事により作業時の腰や背骨への負担を軽減します。

マッスル機能



ひざから腰にかけて、脚の筋肉補助を目的としたマッスルベルトを装着。装着する事で作業時における前屈姿勢や起き上がりの力を補助し、疲れが軽減されます。

お客様から頂いた声をもとに旧モデルから改良した機能

肩ベルト改良



クッション性、通気性のある素材に変更しました。擦れて痛いという声に対応。

チェストベルト追加



チェストベルトを追加しました。肩ベルトの左右開き防止。高さ調整、取り外し可能。

脇強化ベルト追加



脇強化ベルトを追加しました。装着の際、脇強化ベルトをしっかり伸ばすとホールド力がさらにアップし、より効果的。

ひざベルトデザイン改良



独自開発のXパターンにしました。ひざを上下で包み込む仕様はそのままに、ひざにかかる上方向の力を抑制。

マッスルベルト部改良



設計変更しました。取り外し可能なバックルの採用でひざベルトの装着がスムーズに。さらにひざベルト側に回転するバックルを使用する事で様々な動きに対応しヨレを防止。

生地素材変更



機能的な生地素材に変更しました。通気性アップ。一方にしか伸びない生地と縫製技術を駆使し縦・横の力を強力に発揮。毛羽立ちの少ない生地素材を採用。